

(議長 寺島渉)

それでは休憩前に引き続き会議を再開いたします。

一般質問を続けます。

発言順位 5 番、議席番号 9 番、清水均議員を指名いたします。清水均議員。

(9 番 清水均)

議席番号 9、清水均です。質問通告に従いまして順次質問させていただきます。

最初に町長の 4 年間の選挙公約の結果について伺います。峯村町長は 8 月の盆明けに 10 月の町長選挙に再度立候補することを表明されました。そこでこのテーマについて以下質問をいたします。

JR からしなの鉄道北しなの線へ、三水地区の保育園の統合、小学校 4 校の統廃合、地方創生など激動の 4 年間でありました。人口減少、少子高齢化が急速に進行している飯綱町において、新たな政策展開をしながら持続可能な町づくりを進めることの重要性が改めて明らかになった 4 年間でもありました。町長の 4 年前の公約について、まだ十分に果たしたとはいえない内容もあるものというように思います。そこで町長の 4 年前の公約の結果がどのようになっているかについて伺いいたします。町長、お願いします。

(議長 寺島渉)

峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

お答えを申し上げます。私、議員から質問をいただきまして、改めて 4 年前の公約的な政策のチラシ等を自分でまた確認をしましたが、おっしゃるとおり、かなり未完成な部分もありますけれども、財政的な面の改善等も含めて、部分的なものは別としても総体的にはかなりお約束をしてきたような事業を実施してきたなというような印象を全体として持ちました。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

次、括弧 1 になりますが、夢に向けてのチャレンジ宣言として 5 項目について公約いたしました。1 として、5 年、10 年後を見た夢のある事業計画を樹立いたします。2 として、6 次産業化や法人化の推進を図り、儲かる産業を目指します。3 として、地域の活性化や住民の負担軽減を図るため、区や組への財政支援の実現。4 として、牟礼駅整備、商店街の再整備の基本方針を樹立します。5 として、飯綱町の資源を生かした町全体の観光振興計画の樹立を進めます。以上の 5 項目ですが、そこで、第 1 にこの公約それぞれについて、どのような効果があったかについて町長にお伺いいたします。

(議長 寺島渉)

峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

申し上げたいと思いますが、効果と言いますか取り組んできた経過でございますけれども、最初の 5 年、10 年の先を見た夢のある事業計画、これについては、私が立候補した当時の第 1 次総合計画の残りの 5 年というようなものに対して、しっかりと見直し等々進める中で計画を樹立しようという思いでおりましたけれども、いわゆる地方創生というような新しい事業が飛び込んでまいりまして、そこへ小澤さんを何とか派遣をしていただくようななかたちで、この 5 年というのは、今としては地方創生事業、総合戦略、これが平成 32 年を目途としておりますが、この計画をしっかりと作ることができました。

総額で今後の予定している事業費で 18 億 8,000 万円の事業費を予定してございますが、これを生かして 32 年までしっかり地域の活性化等を中心に進めていきたい。

また、向こう 10 年につきましては、28 年に切れました第 1 次総合計画、今年度からスタートする第 2 次町の総合計画、これを指したものでございまして、日本一のりんごの町、日本一の女性が住みたくなる町を目指して全ての事業を積極的に展開していこうという思いで取り組んでおります。

2 番の 6 次産業等々につきましては、道の駅的な拠点の販売施設の着工というもの、建設というものについては遅れが生じているなど感じておりますけれども、一方、三つの直売所に共同のレジシステムを導入するとか、また売上げ状況を毎日農家の方に配信をして、そしてその農家にその日の売行き状況等を即座に知らせる。1 日 2 回やるというようなこと。こういう事業を既に実施をしましたけれども、これ大変好評でございまして、私の持って行ったキュウリ、トマトがもう午前中で 10 個売れてしまったと。個々の皆さんどなたに聞いても非常にやる気になって、昼間と夜と 2 回連絡が来るわけですから、そういう意味では大きな一歩だと思っております。

それから、三つの直売所が同じ共同のレジシステムで動いているというのは、大きな意味で統合したり総合的な対策していく時に非常に有利なスタイルにすることができたと思っております。あと、今年度着工しております、いよいよ農家レストラン、そして直売所の売場面積の拡張等々、積極的に展開をしていきたい。お蔭様で農業所得も就任当時はマイナスの 1 億、2 億だったものが、現在、農業所得課税標準額で 3 億円を超える金額でございまして。商工業の総額が 4 億ちょっとですから、いかに農業の部門の所得が伸びてきているのではないかなと、そういう点では非常に嬉しく思っております。

法人化の関係については、若干まだ遅れがあるなど。これは、今後の大きな課題として、いわゆる特に生産法人、生産するための法人化、組織化をやはり徹底して進めていきたいと思っております。

地域の活性化、住民の負担軽減、これは皆さんご存知のとおり、最初に就任して 2 ヶ年は、各戸 1 戸当たり 4,000 円という財政支援をやらせていただきました。2 ヶ年で終了させていただきましたけれども、これは非常にある意味では喜ばれました。集会所の屋根直すなど、そういうハード事業が主に使われたことも一因にあると思っておりますけれども、本当の意味では、今お願いをしている地域の集落の活性化、維持存続をしていくために一体どうしたらいいのかなというような、そういう事業へ発展するようなディスカッションをお願いしたい。その起爆剤になるような支援金でいきたいという思いがあったわけですが、その点については少し目的と離れたものがあつたなどと評価をしております。繰り返しになりますけれども、今 28 年度からやっている集落創生事業に大きな期待を寄せて、これこそ国でいう地方創生、飯綱町でいう集落創生事業だというふうに思っており、取り組んでいきたいと思っております。

駅前整備でございまして、26 年の 3 月に牟礼駅周辺整備計画を作成し、それに基づいて駅舎や駐車場、歩行者専用の道路などを整備してまいりました。これからもまだ、駅前のロータリーの整備とか、やはり駅前ですので空き店舗を活用した地域の活性化等々も今後取り組んでいきたいと思っております。

5 番目の飯綱町の資源を生かした町全体の観光振興計画。これは、いわゆる観光というと飯綱東高原一本やりのボートやキャンプ、温泉、テニスという、そういうだけのことをイメージしがちでありますけれども、今や豊かな自然風景、三水地区に伝わるような豊かな農村の田園の風景等々が大きな観光資源であるというようなことで、これについても飯綱東高原エリアの研究会とは名を打ってございましてけれども、私その場において、開会の時にもお願いを申し上げたのは、飯綱町全体の観光というものをもう一度考えて、そこに農業や食や農村風景というものも大きな観光資源になるのではないかなというようなことも検討いただきたいということで、現在鋭意やっております。

諸々申し上げましたけれども、この 5 項目のことについては、私は一定の取り組みをしてきた結果、僅かずつですが、これによってそれぞれの町の皆さんがある程度農業というものに対して、自信を持っていただけるようになってきたのと、もう旧牟礼、三水というような言い方は控えたいと思っておりますけれども、どの地域に居てもやはり飯綱町と、そういうイメージでだいたい統一が出来てきたなど。これは 5 事業等々のトータルな評価としてそういうものが見えてきたなどと思っております。以上でございまして。

(議長 寺島渉)

清水議員。

(9 番 清水均)

駅前周辺整備の計画についてというのがありまして、駅前及び駅前道路の朝夕の混雑緩和と歩行者の安全確保の中に、長期として駅前傾斜地の整備というのがあるのですが、傾斜地と言うか前の土手みたいの、あれは何か計画予定はあるのでしょうか。

(議長 寺島渉)

峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

あれについては、企画と建設と協議をしているところですが、非常にお金も掛かったり、あの前の道路に送迎の車が集中をして、非常に交通混雑にもなっている一因というような点もあって、道路を一部拡幅できるのか、またどうすればいいのか、そこら辺も含めて今研究をしている最中でございます。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

上にお宮あるんですが、あそこからは平らになっているもので、切ってもそんなには土量が出ないと思いますけれど、また是非ご検討のほどお願いいたします。

次に残された課題が何か。また達成できなかった要因はどこにあるか。特に今言った農業の法人化はどこまで進んだか。小規模の兼業農家は高齢化と後継者不足による廃農、離農の傾向が続いています。リタイア就農やU、Iターン就業の促進、農業生産の集団化、営農組織の充実などの有効な対応はどのようなになっているかについて町長にお聞きいたします。

(議長 寺島渉)

峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

基幹産業である農業において、特に生産部門において今後非常に担い手不足が危惧されるということについては認識が一致しております。何で法人化がなかなか進まないという点については、やはり一定以上のもう既に法人として動いていらっしゃる皆さんもいらっしゃいますけれども、これから新たに法人化というふうなかたちを進める上では、やはりリーダーになっていただけるような人材がいないと、なかなかそういうかたちに具体的に進んでいかないなと思います。一度立ち上がって動き始めれば非常にいいサンプルとして皆さんが勉強していただけたと思います。

従って、担当課にもいろいろ協議はしているわけですが、どこかにそのモデルプランとなるような法人形態のものを作っていないか。法人にしますと当然のことながら法人税が掛かったり、法人の登記が必要だったり、そういうものが出てくるわけですが、いわゆる共同生産組織、誰かがリーダーになって、そういうかたちでもいいから、是非そういうかたちで取り組んでいきたいというふうに思っています。

もうそれをしないと隣近所で規模拡大のために少し受けてもいいやという人たちが、もうほとんど居なくなってくる時代はそこに見えてきていますから、私は当然のことながら、そういう方向で町も積極的に動きたいというふうに思っていますけれど、かたちが出てくるものだろうと期待しております。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

次に道の駅等の大型直売所の構想についてお願いいたします。農業の底上げとブランド化を基礎にした農家収益の増大、新たな売れる産業品づくりによる加工工場の発展、農業加工、食の体験を資源とした観光産業の集客増大などの経済的向上のため、拠点施設としての大型直売所の施設構想が必要と考えます。町長も公約されていますが、この問題はどうなりましたかについてお願いいたします。

(議長 寺島渉)

峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

私も建設できれば非常にいいなということで、この4年間は取り組んできましたけれども、時々6次産業の進捗状況というようなことで、皆さんの方にも全協で申し上げたりしてきましたけれども、当初

は現在直売所等を経営しているグループの皆さん方にしてみると、そんな大きいものを造ったら、私たちのお客さんがみんな違う方へ行ってしまわないかなと。そういう心配があるというような問題。そして、予定地として考えていたJAさんの施設の跡地利用というようなものについても、JAさんはJAさんとして、利用の目的があるというようなことで、適地がなかなか手に入らない、見付からない等々の問題。そして、もう一つはこれを運営していく頭脳が欲しいと。そういう意味では今のところ相応しい、任せられるほどの人材とそしてそれに見合う資金力の融通の仕方の目途が立たない。

できれば町が全部建て、町が委託に出すという従来のスタイルではなくて、町も一緒になって支援は申し上げるけれども、主体には是非ここでやっていこうという、そういう人たちの集まりに町が応援をさせていただくというような方向での会社設立、事業の運営等々を考えていきたいというような、そういう目的で動いてきましたもので、全体的にそういう意味ではなかなか難しいというような点で、現在三つの直売所の強化をしていくというようなかたちでやっておりますけれども、適地を見つけたいということで、いくつかの適地だと思われる場所に目安を付けて、どうだろうというような検討を今しているところも実際にはありますもので、ある程度、もう少し先が見えてきた時点で、いろいろご説明をしていきたいと思っています。

（議長 寺島渉）
清水均議員。

（9 番 清水均）
分かりました。よろしく願いいたします。先ほどやった区、組への支援は先ほど説明いたしましたから飛ばします。

次に牟礼駅前の整備、商店街の再整備の進捗状況についてお伺いいたします。1として駅周辺の総合的インフラ整備と駅前のバスターミナル化、2としていきいきサロンの開設、3として高齢者の共同作業場の開設、4として空き店舗の起業者への貸し出し、5として買物弱者や若者向けの店舗を作るとありますが、実現できたか、また今後の見通しについて町長にお伺いいたします。

（議長 寺島渉）
峯村町長。

（町長 峯村勝盛）
私そんな細かいところまで公約に出したかどうか、ちょっと記憶にないわけですが、空き店舗の活用については、なかなか空き店舗はあるわけですが、ご協力いただけないという事実がございました。いきいきサロンや社協のボランティアセンター的なものについても、そのような事情で駅前を諦めざるを得なかったというような経過の中で来ております。

また新たに今休んでいた空き店舗のところに、昨日も何か1軒新しいお店が進出してくるというような情報を地元の方からお聞きをしましたけれども、やはり駅前ですので、駅前らしさというものを私はある程度取り戻すような、大きな設備投資というのは控えさせていただきますけれども、そういう賑わいのある、そういう場所にはしていきたいなと思って取り組んでおります。

（議長 寺島渉）
清水均議員。

（9 番 清水均）
これについては、牟礼駅周辺の整備計画の中にあつたものですから、一つ是非よろしくお願ひしたいと思ひまして、質問いたしました。

その次に 10 月の町長選挙に立候補を表明されましたが、町長が考えている今後のまちづくりの基本理念と基本政策は何かについてお伺いいたします。

（議長 寺島渉）
峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

こういう質問に対して、私本当にどういうふうにお答えすればいいのかなといつも思うわけですが、非常に一言で集約する表現というのはなかなかできないですが、思い付きで答弁をしているわけではなくて、精一杯自分なりに考えてきたことを端的に申し上げますが、私は何といたってもこの飯綱町に住んでいる人が夢と希望を持って安心して心豊かな生活ができるような、そういう町にして、それを維持、存続させていくことが私の一番のまちづくりの基本だというふうに思っております。

そのためには一体何をやるかという、やはり基本である健全財政というものをしっかり維持、堅持していく必要があるだろうと。何とか人口の減少を最小限にとどめて、日本一のりんごの町、よく言わせてもらいますけれど、日本一のりんごというのは、日本一、農業、農村が素晴らしいところだと、そういう町。そして、日本一女性が住みたい町、これは日本人に優しい、世代を超えて誰もがここに住みやすいなあと思う、そういう町を目指して、諸々の事業を展開していきたいと思っております。

なお、事業を進める上で、非常にこれからの時代において大事だと思っていることは、計画の段階から住民の皆さんの参画をいただいて、協働で事業を進めていく時代になっているだろう。そのために、もう一度行政の役割とか、地域の皆さんにお願いして果たすべきこと、その役割分担とていうものをもう一度整理をする必要があるというふうに感じております。

極端に言えば、水路の整備とか、ただ本当に地域のための文化的な伝承事業だとか、そういうものを全て地域でやっていく時代から、精一杯、町としては公共事業等の関係の維持というものについては、町が一定の配慮、負担をしていこう。その分、違った意味での地域の役割は、地域の皆さん果たしていただきたい。そういう飯綱町に住んで良かったというのは、やはりこの町に住んでいて、何か秋が来るのが楽しみで、冬が来るのが楽しみで、余裕とゆとりと言いますか、そういうものを持ちながら生きていけるような地域に体制を作っていくことが、これからの時代は非常に大切ではないかなと。そんなことを基本にして、今後の 4 年間、行政の運営にあたっていきたいと思っております。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

次に進ませていただきます。次のテーマである自然の中の暮らし魅力創造発信事業についての質問に移りますが、先ほど先輩議員が説明、質問されたとおりですが、他にあったらということでお聞きいたします。

高岡地区活性化 109 委員会ではどのような成果を出しているか。提案されたことで事業化を決定した具体的な内容があるか。先ほど質問された以外にお願いいたします。

(議長 寺島渉)

徳永企画課長。

(企画課長 徳永裕二)

それではお答えしたいと思います。現在、委員会の目的であります提言書をまとめる段階に入ってきておりまして、これから高岡地区活性化委員会の提案がされるという状況に今あるわけでございます。

今までの委員会の成果としましては、17 名の委員さんがおられるわけですが、高岡地区の歴史や文化を学ぶ活動、また各集落や観光地の現状の確認、それから他市町村の学校跡地活用の視察などを行うとともに、8 月末までに 20 回にわたる委員会を開催してきておりまして、住民アンケート調査の結果などを踏まえて、現在、提言書の作成をさせていただいております。

また、委員会独自でも活動をいただいております。観光地付近の道路のごみ拾いを定期的に行うなど、活発な活動をこの委員会では行っていただいているところでございます。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

ここに書いてあるように具体的な政策なんですけど、もうちょっと細かいこと何かあったらお願いいた

します。

(議長 寺島渉)
徳永企画課長。

(企画課長 徳永裕二)

具体的なというお話でございますけれども、今、具体的な提言をしていただくように、この委員会の方で検討をしていただいているところでございます。具体的にはどのような検討がされているかということですが、提言書の案というようなことで、今ご検討をいただいております。その案の中では高岡地区の将来展望であったり、活性化に向けた具体的な施策の提言、それから今後の計画と推進体制ということで、この中には西小学校の跡地利用、こういったものを今整理していただいて、これから町の方へ提言をいただき、その提案に沿って町の方でも具体的に活性化策、また西小学校の跡地の活用について、町の考え方をお示ししていきたいという段階でございますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

(議長 寺島渉)
清水均議員。

(9 番 清水均)

今、町の考え方ということで出たんですが、町としてはどんな政策提案を期待していますか。

(議長 寺島渉)
徳永企画課長。

(企画課長 徳永裕二)

まず、この委員会でございますけれども、高岡地区の少子高齢化や過疎化による環境変化に力強く対応し、この地区で生きがいを感じ、楽しく生活できる生活圏を維持する、且つより良く発展させるための地域づくりの提言やそれらの活動をリードするといった目的で設置されているものでございまして、期待しているところというと、この目的に沿って地域住民の意見を踏まえた西小学校の跡地活用、また、高岡地区の活性化に繋がる提案というものを、この委員会では是非お願ひしたいなど期待をしているところでございます。

(議長 寺島渉)
清水均議員。

(9 番 清水均)

分かりました。次に進みます。業務委託料として、1,965 万 6,000 円予算化されているんですが、どのような事業を予定されているかについてお伺ひいたします。

(議長 寺島渉)
徳永企画課長。

(企画課長 徳永裕二)

本年度につきましては、小学校の跡地活用、再整備ということになろうかと思ひますけれども、その方向性を検討するための建物や設備等の劣化診断、一昨日の清水満議員さんのお質問にもお答えをさせていただきましたけれども、こういった今の小学校の建物とか設備等がどのぐらい劣化が進んでいるかといった劣化診断ですとか、施設評価、こういったものを行ひまして、改修方法の検討ですとか改修に掛かる概算の費用、こういったものを算定するなど、施設を有効活用するための基礎的な調査というものを行ひ予定にしております。

また、次年度以降に向けた観光プログラム、先ほど観光のお話もございましたけれども、観光誘客というのもこの事業の目的でございますので、観光プログラムの開発ですとか、情報発信の仕組みの検討、

また森林ですとか、里山、それから公園整備などに関わる、こういった業務等を実施する。いただきました予算の中でこういったことを進めてまいりたいと思っています。

(議長 寺島渉)
清水均議員。

(9 番 清水均)
これについては町内の業者の方も入ってくるということですか。町内の業者の方だけ、それとも町外。

(議長 寺島渉)
徳永企画課長。

(企画課長 徳永裕二)

業務を行っていただく事業者さんでございますけれども、町内の事業者さんに委託等できるものについてはできるだけお願いしたいと思っておりますけれども、発注にあたっては、資格ですとか技術者数、そういったものも業者選定の基準等にございまして、これに沿って進めていくということになりますので、町外の事業者さんをお願いするものも出てくるかと。できるだけ町内の業者さんをお願いしたいと思っておりますけれども、今言ったような事情で町外の事業者さんをお願いするものも出てくるかと思っております。

町の総合戦略では、地域経済循環率の向上を目標としているところでございますので、小規模事業者登録制度、こういった制度も町の方にございます。こういった制度も積極的に活用するとか、町外の大規模な事業者さんが受注した業務についても、町内の事業者さんが行える部分については町内の事業者を使って欲しい、活用して欲しいということを受注した事業者さんにお話するなどしまして、これらの取り組みを進めてまいりたいと思っておりますのでございます。

(議長 寺島渉)
清水均議員。

(9 番 清水均)

是非、そういうことで町内の方を活用してもらいますようによろしく願いいたします。

次に本会議の二日目に牟礼西小学校を事例として跡地利用を議論していましたが、牟礼西小学校の跡地利用はどこまで具体化していることについてお伺いいたします。

案として、1 として美術家、彫刻家、木工家等の芸術家を呼べないか。都会の子どもたちの合宿所として、都会と農村の交流、農業体験とか、里山再生のための活用はできないか。大学のサークルの合宿等はどうか。4 として、福祉施設としての活用はできないか等々ありますが、町長にお伺いいたします。

(議長 寺島渉)
峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

これについても、今の 109 委員会でもいろいろな希望を把握しているところでございますけれども、議員が今提案されたようなことも十分考えていることでございます。

木工なども非常に良い機械を寄贈受けているようなものもございまして、ちょうど山と西地区のいい意味での連携するような木工という事業は一致しているかなということも思っております。いずれにしても、もう少し具体的な利用候補については、関係の皆さんと相談する中で方向を出していきたいと思っております。そのためにも今診断をしてあげないと、3 階に少し重たいものを持って行って設置するというような利用になった場合の補強の仕方と、3 階は今のままでいいとかというようなことによっても、だいぶ違うみたいなのところもあるようです。そんな点も含めて今検討していきたいと思っております。

(議長 寺島渉)
清水均議員。

(9 番 清水均)

是非、効率ある跡地利用をお願いしたいと思います。次に移ります。

いづなりリゾートスキー場のその後と観光事業についてお伺いいたします。売却構想の進捗状況について、また売却の可能性はどのくらいあると現時点では考えているかについて町長にお伺いいたします。

(議長 寺島渉)

峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

いづなりリゾートスキー場については、今月 13 日、来週にも住民の皆さんへの説明会を計画してございますけれども、現在のところ、前に全協等で申し上げた域をまだ脱してはいません。具体的に大きな話が出てきているという状況にはありませんけれども、私どもが手元に持っている情報と、そして正直って会計事務所さんとかその他の皆さんとかからもいろいろな情報いただいております。そういう意味でチャンネルを多くすると言いますか、そういう多くの情報を持って、何とかこの 2 年間の間に、2 シーズンの間に、思うような方向へ処分をしていきたいなと鋭意進めているところでございます。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

次、もし仮に売却交渉が成立しなかった場合、スキー場に代わる新たな観光事業をどのように展開するのか、基本的な考えがあったら示して欲しいと思います。また、鶴見女子大学の施設活用はどうなったかについて町長をお願いします。

(議長 寺島渉)

峯村町長。

(町長 峯村勝盛)

スキー場をスキー場として利用するという受け手が無いという場合については、残念ながらスキー場を断念しなければならないなと思っております。

今日も長野市の代表監査委員さんの記事が載っておりましたけれど、戸隠、また戸隠キャンプ場で累積の赤字が 5 億数千万円という記載でございました。単年度で 3,300 万ほどの赤字だと。これから極めて財政的に厳しいという中で、また改めて何億というような負債を町が背負っていくというような方向というのは、これはやはり過去のいろいろな勉強してきたことを理解していない判断だろうというふうに思いますので、それはそれで止むを得ず、断腸の思いということもありますけれども、そういうかたちに行かざるを得ないというふうに思います。

そうでなければ、いくら地元の人の誰かにスキー場何とかやってくれといっても、毎年 3,000 万、4,000 万の赤字が出ていて、その赤字を自分で払ってくれというのは、あまりにも町の施設を預けるというのには私はちょっと違うだろうなと思います。であれば、思い切って断念すべき時は、断念すべきだろうなというふうに思っています。

その代わりに林野庁から借りている山、それからスキー場の今のゲレンデ等々も含めて、あの一帯をもう 1 回魅力のある飯綱高原の観光地としてどうしていくかは、本当に今日お見えです東高原エリアの古木会長さんほか、関係のいろいろな人が集まっているあのグループの一つの提案というの、私は大きな参考にしていきたいなと思っております。

鶴見女子大については、もう学長に会って、はっきり利用しても結構ですという返事をいただいてきておりますけれども、具体的にあそこを使ったイベント等を企画するところが今のところ出てきていないと。これが本当に現実でございます。是非 120 人ぐらい宿泊できる素晴らしい施設ですので、何とかあれを利用したイベント、企画、そういうものをしていきたいなと思っております。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

町長はこのところ農業の方にばかり力が入っているんですが、農業関係はもちろんのこと、観光面にしても四季を通した老若男女問わず、癒し的な自然、施設も必要と思うが、その場所に入り集まった人たち、農産物の購入にも一役を買っているのではないかと思います。その地域で生活を営んでいる人たちもおります。生活圏を侵害しないような政策についてをお願いしたいと思います。

(議長 寺島渉)

町長。

(町長 峯村勝盛)

おっしゃるとおり、決して農業 1 番で、観光 2 番だと申し上げているわけではないです。ただし、私は観光というものは、農業もそうかもしれませんが、常にリニューアルというものをしていかないと飽きられてしまう。非常にそこら辺が観光業というのは、やはりその道のプロがしっかりやるのと、それを投資して行って回収していくという、しっかりとしたそういうものがないと、どうも行政が携わる事務としては、あまり不得意とする馴染まない部門かなというイメージはあるわけですが、しかし、飯綱東高原の長野県に指定された家族旅行村、県内には駒ヶ根とこの飯綱しかない素晴らしい事業でやってきた観光地でございます。私は霊仙寺湖の湖畔に立った時の黒姫、妙高、北信五岳を見たあの風景というものは、どこにも負けない素晴らしいものがあるだろうというふうに思っています。

そういうものをしっかり財産として考えておりますので、何とかスキー場も含めて観光でもやっつけられるような、そういう知恵と工夫をしていきたいと、これは心からそういうふうに思っております。関係の皆さんにもお伝えしていただければ結構だと思います。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

是非、そういう生活圏ある方がおりますから、見逃さないようにお願いしたいと思います。

次に先月の 27 日、妙高・黒姫山麓大学駅伝大会が開催されましたが、今後は飯綱町も参加し飯綱東高原まで延長することはできないか。この大会には妙高高原スポーツ公園陸上競技場から黒姫陸上競技場までの全区間 28.7 キロで 20 大学が出場しました。

この大会には箱根駅伝に出場した駒澤大学、日体大、明治大、早稲田大学などのお馴染みの大学が出場しております。関西からは 1 校だけなんですけど、立命館大学が初出場し初優勝をいたしました。また、この大会は、女子は全国大会で優勝経験がある強豪の大学であります。この大会は開会式場や閉会式場、沿道での観衆が総勢約 4,200 人いたようでございます。これから盛んになるだろう駅伝大会であり、この中の大学から鶴見女子大学等の施設を活用し合宿をしていただき、それと同時に飯綱東高原のグラウンド活用、走行指導、見学等、いくつかの利益も考えられると思うが、町長の見解をお伺いいたします。

(議長 寺島渉)

近藤副町長。

(副町長 近藤邦彦)

それでは、若干時間もございますので、大会の背景についてのお話をさせていただければと思います。

黒姫高原と妙高高原では夏には多くの陸上競技者が合宿をしております。かつては長野県の池田町出身の中山竹通選手が、長野富士通時代に黒姫高原を望みます野尻湖周回のコースを走って力を付けたと言われております。その中山選手の富士通時代の監督が、現在、信濃町の黒姫陸上競技場や町内のランニングコース、それからクロスカントリーコースの管理、整備にあたっておられます NPO 法人信濃町スポーツ企画サービス理事長の飯綱町倉井出身の牧野義夫さんでございます。

2000 年以降は黒姫高原には、合宿として先ほど議員さんおっしゃいました駒澤大学が箱根駅伝で活躍しております。妙高高原では、箱根駅伝 3 連覇中の青山学院をはじめとしまして、多くの大学が合宿を

しているところでございます。

駒澤大学の八木監督が、10 月の箱根駅伝の予選会を前にしたこの時期に是非、駅伝大会をして欲しいという思いと、それから合宿の場を提供しております牧野さんの選手を是非、バックアップしたいというこの思いが一つになりまして、夏合宿の聖地を繋ぐ黒姫・妙高山麓大学駅伝大会として実現したということでございます。

昨年 8 月 28 日に初開催され、第 2 回大会が先ほど議員さんおっしゃいました先月の 27 日の日曜日に開催されました。私も観戦をしてきました。妙高高原スポーツ公園陸上競技場をスタート地点としまして、黒姫の陸上競技場をゴールとする全 4 区間の 28.7 キロのコースでございます。1 区が最長で 8.8 キロ、2 区は最短の 5.1 キロ、3 区は下り坂基調の 7.8 キロ、4 区がアップダウンの厳しい 7.0 キロということで、28.7 キロのコースでございます。大学 20 校、オープン参加で中野土建の 2 チーム、計 30 チームが参加をしまして、先ほどおっしゃられた立命館大学が優勝、駒澤大学、早稲田大学という結果でございました。

昨年の第 1 回大会開催後に信濃町に飯綱町まで延長してもらうことはできないものかということで、お願いした経過がございます。そのタイミングに主催者側と大学側に是非、2 区間増やしたいという希望が出てきたということでございます。妙高市としては、今、妙高高原ゴルフ場を周回しています 1 区の妙高高原ゴルフ倶楽部から杉野沢、池の平公民館前のコースを是非、市街地に回して欲しいという希望があるようですけれども、このコースとすると国道を横断しなければならない箇所が何か所か出てくるために、コース取りが難しいというところがあるようです。

できれば飯綱町に 2 区間増やしたいということで、先月の 30 日に牧野さんが来庁されました。いずれにいたしましても、この趣旨でございます、夏合宿の聖地を繋ぎ両市町の交流を一層深めるという趣旨での黒姫・妙高山麓大学駅伝大会でございますので、そぐうかたちで還元されなければ意味がないと思います。

大会の経費は 700 万ということで聞いております。区間の延長によって、大会経費の増額はもちろんですけれども、応分の負担が強いられます。また、かなりのスタッフが必要になってまいりますので、町にとっての利点はどうか、慎重な検討が必要だと思っております。

大会実行委員長は牧野さん、そしてまた副委員長は信濃町観光協会長の砂山さんでございますので、信濃町、妙高市とは妙高戸隠連山国立公園の下で信越自然郷、そしてまた信越高原連絡協議会等で連携しながら、こういう観光事業を行っている間柄でもありますので、飯綱町の観光協会等観光団体、また交通安全協会、体育協会等の皆さんのご意見をお聞きしながら、前向きに検討したいと思っております。以上です。

(議長 寺島渉)

清水均議員。

(9 番 清水均)

是非、そのようにお願いしたいと思っております。いずれは飯綱をぐるっと 1 周したようなコースもいいのではないかなということも信濃町の方、話しておったんですが、是非そのように実現できるようにお願いできればと思っております。そうすれば長野市が入ってきますから負担がだいぶ少なくなってくるのではないかなと思っております。よろしく願いいたします。

以上で質問を終了いたしますが、今までの 4 年間は一定の成果がありました。今後の 4 年間に期待をし、より進化した飯綱町づくりを進めていければと思っております。飯綱町全体が一步一步前進できるよう願いを込めて質問を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

(議長 寺島渉)

清水均議員、ご苦労様でした。暫時休憩に入ります。

再開は 3 時ということにします。